

井戸智子個展

IDO Tomoko solo exhibition

2016 12 / 8 thr - 12 / 13 tue

11:00-19:00 (Last day -16:00)

今回の展覧会は春陽会に所属している井戸智子さんによる『井戸智子個展』でした。

この展覧会では公募展に出している作品と、実験的に制作している小品を並べました。春陽展などに出している作品は自転車のペダルの部分がモチーフになっており、写実的に描かれたモチーフと自転車で走っている時に見えるような高層ビル群や、住宅の屋根の連なり、地図の様に見える模様の構成がとても印象的な作品でした。まるで自分で自転車を漕ぎ、走っているように感じます。

春陽展以外の物については表面の質感にこだわり、グレーの色をベースに描かれています。表面は波だつた海のような質感をローラーで塗る事により、表現をしているようです。ローラーの数が少ないと余り表情が出なく、多すぎるとごちゃごちゃしてしまい、バランスがとても難しいそうです。描かれているモチーフはマッドなセラミックスタッコによって表情をつくり立体感を出し、帽子や動物の頭蓋骨、野菜などをシンプルな形で描いていました。グレーの色と描いたモチーフのコントラストがとてもきれいでした。

サイズが変わるとコラージュを使った作品が多く出てきました。洋服をデザインしたような物では布を貼り付け、画面に表情を出していました。また描いたものを印刷し再度付けることで、異なった表情がでとても興味を惹かれました。街並みをコラージュしたものは、大きさの倍率を変え、画面に組み込みことで遠近感が出ていました。

絵画というと描くことが基本ですが、画面にいろいろなアイデアを入れることにより、新しい発見があるんだと感じました。

ゆったりと落ち着いた会場で、来ていただいた皆さんも作品としっかり向き合え、新しい発見があったと思います。

